| 呉T | 工業高等 | 事門学校 | │ 開講年度 | : 令和04年度 (2 | 2022年度) | 授業科 | 目 建築工: | 字 美 験 | |
|---|----------------------------|--|---|--|--|---|--|--|---|
| 科目基礎 | | | 1,132,13 | (1-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-1 | | 3247141 | , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | 3 2 3 3 3 | |
| 7 <u>1 全 版</u> 4 目番号 | - II J TIX | 0294 | | | 科目区分 | 車門 | | | |
| 村日銀亏 0294 授業形態 実験 | | | | | 単位の種別と単位数 履修単 | | | | |
| 開設学科 建築学科 | | · :科 | | 対象学年 5 | | <u>+ 12: 1</u> | | | |
| 開設期 | | 前期 | | | 週時間数 2 | | | | |
| | | | ント等を配布する | | | | | | |
| <u> </u> | 1,7 | 三枝 玄神 | | ,,, | | | | | |
| 到達目標 | 5 | | 1- | | | | | | |
| 1. 実験目 2. 実験デ 3. 実験結 | 目的に対し道 データの処理 5果に対して | 里ができる。 | 電を構成できる。 な行うことができ 認する。 | ₹ る 。 | | | | | |
| レーブリ | リック | | | | | | | | |
| | | | 理想的な到達し | ノベルの目安 | 標準的な到達レク | ベルの目安 | 未到達 | レベルの目安 | |
| 評価項目1 | | | | <u></u> 適切な実験装置を | | | | 実験目的に対し適切な実験装置 | |
| 正 現日↓ | | | 適切に構成で | | | 構成できる | | きない | |
| 平価項目2 | | | | <u>処理が適切にできる</u> | 実験データの処理 | | | ータの処理がで | |
| 平価項目3 | | | 実験結果に対し うことができる | して適切な考察を行 る | 実験結果に対して ができる | て考察を行う | こと 実験結 ができ | 果に対して考察 ない | を行うこ |
| 対ショ | | 頁目との関 | • | <u>~</u> | 10 000 | | 14 66 | U-V - | |
| | | | バボ 図・教育目標 (HC) | <u> </u> | | | | | |
| 教育方法 | | ふ イサイ イレンノ丁目 | | J | | | | | |
| | ``` | 講業で変 | | P構造部材の知識や情 | 超伽田の知識を注 | 田」、 印宝4 | はおりの性質を | | 仁情却加到 |
| 既要 | | 講義 C 音 技術を体 | | ~1時,但の147077以前成。() ² 1月 | TIXVU王ツ和畝で活り | пО, 児夫() | ハルキリン注貝で | 生肝りる亡旧呀 | に一月ギ収火して |
| 受業の准み | 方・方法 | | の作成方法を含め | た実験データの取り | | グループ旬 | に実験ための | 準備,実験の実 | 施, まと& |
| 又未り延め | //」・/1/圧 | を行う。 | | :おいての作業となる | | | | | |
| | | | ∖ ∧ l∠>≡+ l 1∩∩ | の かき ナらの い トラ | さまかげ合物 レギ | Z |)欄を参照する | | |
| | | 評価割合 実験に際 円滑に授 多上の区分 | してスケジュール 業を進めるために ト | %のうち60%以上達 調整の必要があるた :も,他のグループの | 成すれば合格となめ、授業計画に記述 実験の際には率先し | る。 載されている して手伝いを | ら内容は前後す。 とすること。 | る可能性がある | ۰ |
| | 3性・履修 ィブラーニ | 評価割合 実験に際 円滑に授 多上の区分 | してスケジュール 業を進めるために | /調整の必要があるた | 成すれば合格とな め,授業計画に記述 | る。 載されている して手伝いを | ら内容は前後す。 とすること。 | | ۰ |
|] アクテ | ィブラーニ | 評価割合 実験に際 円滑に授 多上の区分 | してスケジュール 業を進めるために ト | /調整の必要があるた | 成すれば合格となめ、授業計画に記述 実験の際には率先し | る。 載されている して手伝いを | ら内容は前後す。 とすること。 | る可能性がある | ۰ |
| アクテ | ィブラーニ | 評価割合 実験に際 円滑に授 多上の区分 | してスケジュール 業を進めるために ト □ ICT 利用 | /調整の必要があるた | 成すれば合格となめ、授業計画に記す 実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを | 5内容は前後す。 とすること。 □ 実績 | る可能性がある | ۰ |
| アクテ | ィブラーニ | 評価割合実験に際円滑に授多上の区分 | してスケジュール 業を進めるために | 調整の必要があるたち,他のグループの | 成すれば合格となめ、授業計画に記言 実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを | 5内容は前後す。 とすること。 □ 実績 | る可能性がある | ۰ |
| アクテ | ィブラーニ | 評価割合実験に際円滑に授多上の区分 | してスケジュール 業を進めるために | 調整の必要があるた も,他のグループの コン,実験計画と準備 | 成すれば合格となめ、授業計画に記言 実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを | 5内容は前後す。 とすること。 □ 実涯 童目標 | る可能性がある 务経験のある教! | 員による抗 |
| アクテ | ィブラーニ | 評価割合実験に際円滑に授多上の区分にング 週 1週 2週 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ | 調整の必要があるたち,他のグループの も,他のグループの コン,実験計画と準備 加工① | 成すれば合格となめ、授業計画に記言 実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを | が内容は前後すること。 □ 実際 立すること □ 実際 立する □ 実際 | る可能性がある | 。 員による抗 情成できる |
| アクテ | ィブラーニ | 評価割合実験に際円滑に授を上の区分にング 週 1週 2週 3週 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ | 調整の必要があるた も,他のグループの aン,実験計画と準備 加工① 加工② | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを 週ごとの到 実験目的に 実験目的に | 5内容は前後すること。 □ 実務 童目標 対し適切な実験 対し適切な実験 | る可能性がある | 。 員による <u>抗</u> できる 動成できる |
| アクテ | ィブラーニ | 評価割合実験に際円滑に授を上の区分 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ | 調整の必要があるた も,他のグループの ョン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを 週ごとの到 実験目的に 実験目的に 実験目的に 実験目的に | S内容は前後すったですること。 □ 実務 全目標 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| アクテ | ィブラーニ I | 評価割合実験に際円滑に授を上の区分 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ | 調整の必要があるた も,他のグループの ョン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを 週ごとの到 実験目的に 実験目的に 実験目的に 実験目的に 実験目的に | 5内容は前後すること。 □ 実習 全すること。 □ 実習 幸目標 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| アクテ | ィブラーニ I | 評価割合 実験に際 円滑に授 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ | 調整の必要があるた も,他のグループの ョン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを 選ごとの到 実験目的に 実験目的に 実験目的に 実験目的に 変全に実験 | 5内容は前後すること。 □ 実列 幸目標 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 が実施できる | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| アクテ | ィブラーニ I | 評価制合 実験に接 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験で 実験で | 調整の必要があるた も,他のグループの ョン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを 実験目的に 実験目的に 実験目的に 安全に実験 安全に実験 | S内容は前後すること。 □ 実利 童目標 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切なまきる が実施できる | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| 受業計画 | ィブラーニ I | 評価制合 実所で 所で 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験で 実験で 実験で 実験で 実験で 実験で 実験で 実験で | 調整の必要があるた も,他のグループの ョン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを 実験目的に 実験目的に 実験目的に 実験全に実験 安全に実験 安全に実験 | 5内容は前後すること。 □ 実著 章目標 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 が実施できる が実施できる が実施できる | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| 受業計画 | ィブラーニ I | 評価制合際 実上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験① 実験② 実験③ 実験④ | 調整の必要があるたち,他のグループの コン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ 加工③ | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 実験の際には率先 | る。 載されている して手伝いを 調ごとの到う 実験目的に 実験目的に 実験目的に 安全に実験 安全に実験 安全に実験 安全に実験 | 5内容は前後すること。 □ 実務 幸目標 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 が実施できる が実施できる が実施できる | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| 受業計画 | ィブラーニ I | 評価制合 実所で 下 下 下 で 下 で で で で で で で で で で で で で で | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験② 実験② 実験③ 実験④ データ整理・レオ | 調整の必要があるた も,他のグループの コン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ 加工④ | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先は 実験の際には率先は は 遠隔授業対応は は 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを 週ごとの到 実験目的に 実験目的に 安全に実験 安全に実験 安全に実験データ | 内容は前後すること。 室すること。 室目標 対し適切な実験対し適切な実験が実施できるが実施できるが実施できるが実施できるのの処理が適切に | る可能性がある | 。 員による <u>!</u> 動成できる 動成できる |
| 受業計画 | ィブラーニ I | 評価制合 実所で 多上の区分 ことが 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエンテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験で 実験で 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の | 調整の必要があるたち,他のグループの コン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ ・加工④ ・加工④ ・ 加工④ ・ 加工④ | 成すれば合格となめ、授業計画に記言 実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 | る。 載されている して手伝いを 週ごとの到 実験目的に 実験目的に 安全に実験 安全に実験 安全に実験データの 実験データの | S内容は前後すること。 □ 実列 全すること。 □ 実列 全目標 対し適切な実験 対し適切な実験 対し適切な実験 がとし適切な実験 が実施できる が実施できる が実施できる の処理が適切に のの処理が適切に | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| 受業計画 | ィブラーニ I | 評価制合 実験に接 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 | してスケジュール 業を進めるために □ ICT 利用 授業内容 オリエテーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験で 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の | 調整の必要があるた。 も、他のグループの コン、実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ 加工③ 加工④ ペート作成・スライド ペート作成・スライド | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | る。就されているして手伝いるして手伝いるとの到ごとの到う実験目的に対象を全に実験を安全に実験を安全に実験が安全に実験がデータの実験データの表も | 内容は前後すること。 室すること。 室目標 対し適切な実験対し適切な実験が実施できるが実施できるが実施できるの処理が適切につか処理が適切につの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切に | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| 受業計画 | イブラー <u>コ</u> I 1stQ | 評価制合際 下の区分 三ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 | してスケジュールに 業内容 オリエー・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験で 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実をでする。 実をでする。 実をでする。 実をでする。 まである。 までるる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 ま | 調整の必要があるたち,他のグループの コン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ 加工③ 加工④ ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ ではではできる。 □ ではではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではではではできる。 □ ではではできる。 □ ではできる。 □ ではできる。 | る。 されている はされている また | S内容は前後すること。 □ 実 | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| 受業計画 | イブラー <u>コ</u> I 1stQ | 評価制 下 下 下 下 下 で 下 で で で で で で で で で で で で で | してスケジュールに 業内 ICT 利用 授業内 アーショ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験で (実験で) 実験で (実験で) 実験で (実験で) 実験で (実験で) 実験で (フタ整理・レオデータ整理・レオデータ整理・レオデータ整理・レオデータ整理・レオデータを発理・レオデータを発理・レオデータを発達でした。 | 調整の必要があるた。 も、他のグループの コン、実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ 加工③ 加工④ ペート作成・スライド ペート作成・スライド | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ ではではできる。 □ ではではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではではではできる。 □ ではではできる。 □ ではできる。 □ ではできる。 | る。 されている はされている また | 内容は前後すること。 室すること。 室目標 対し適切な実験対し適切な実験が実施できるが実施できるが実施できるの処理が適切につか処理が適切につの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切にのの処理が適切に | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| 受業計画 | イブラー <u>コ</u> I 1stQ | 評価制 に 下 下 下 下 の 下 が | してスケジュールに 業内容 オリエー・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験で 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実験の 実をでする。 実をでする。 実をでする。 実をでする。 まである。 までるる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 までる。 ま | 調整の必要があるたち,他のグループの コン,実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ 加工③ 加工④ ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ ではではできる。 □ ではではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではではではできる。 □ ではではできる。 □ ではできる。 □ ではできる。 | る。 されている はされている また | S内容は前後すること。 □ 実 | る可能性がある | 。 員による技 動成できる 動成できる 動成できる |
| 受業計画が期 | ィブラーコ I IstQ 2ndQ | 評価制合際でである。 下の区分でである。 下の区分でである。 一の区分でである。 一の区分でである。 一の区分でである。 一の区分である。 一の返する。 一のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので | してスケジュールに 業内容 オリエ画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験② 実験② 実験② 実験② 実験② 変を理・レガデータ整理・レガデータ整理・レガデータ整理・レガデータ整理・レガデータを要理・レガデータを要理・レガデータを要理・レガデータを表 | 調整の必要があるたち,他のグループの コン,実験計画と準備が加工① 加工② 加工② 加工② 加工③ ・ 加工④ ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ ではではできる。 □ ではではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではできる。 □ ではではではではできる。 □ ではではできる。 □ ではできる。 □ ではできる。 | る。 されている はされている また | S内容は前後すること。 □ 実 | る可能性がある | 。 員による <u>対</u> |
| 受業計画が期 | ィブラーコ I IstQ 2ndQ | 評議に接 多上の区分 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Fユラムの | してスケジュールに 業 内容 | 調整の必要があるたち,他のグループの コン,実験計画と準備加工①・加工②・加工③・加工③・加工④・ボート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | る。 されている はされている また | S内容は前後すること。 □ 実 | 多経験のある教! 装置を適切に権装置を適切に権装置を適切に権 装置を適切に権 できる できる できる できる | 。 情成できる 情成できる 情成できる |
| 受業計画が期 | ィブラーコ I IstQ 2ndQ | 評価制合際でである。 下の区分でである。 下の区分でである。 一の区分でである。 一の区分でである。 一の区分でである。 一の区分である。 一の返する。 一のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので | してスケジュールに 業内容 オリエ画・準備・ 実験計画・準備・ 実験計画・準備・ 実験② 実験② 実験② 実験② 実験② 変を理・レガデータ整理・レガデータ整理・レガデータ整理・レガデータ整理・レガデータを要理・レガデータを要理・レガデータを要理・レガデータを表 | 調整の必要があるたち,他のグループの コン,実験計画と準備加工①・加工②・加工③・加工③・加工④・加工③・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・ボート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライドペート作成・スライド | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | る。 されている はされている また | S内容は前後すること。 □ 実 | 多経験のある教! 装置を適切に構装置を適切に構装置を適切に構設置を適切に構 できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。 | 。 情成できる 情成できる 情成できる 情成できる |
| □ アクテ受業計画□ デルコ | ィブラーコ I IstQ 2ndQ | 評議に接 多上の区分 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Fユラムの | してスケジュールに 業 内容 | 調整の必要があるたたも、他のグループの コン、実験計画と準備 加工① 加工② 加工③ 加工③ 加工④ ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド ペート作成・スライド | 成すれば合格となめ、授業計画に記言実験の際には率先」 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | る。されている。これでは、一週では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切 | S内容は前後すること。 □ 実 章目標 対しし適切な実験 対しし適切なきまま 対しし適切なきるるが実施できるるが実施できるるが実施できるるがの処理が適切に の処理が適切に のの処理が適切に のの処理が適切に のの処理が適切に のの処理が適切に | る可能性がある | 。 情成できる 情成できる 情成できる |
| 受業計画が期 | ィブラーコ I IstQ 2ndQ | 評議に接 多上の区分 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Fユラムの | してスケジュールに 業 内容 | 調整の必要があるたたも、他のグループの コン、実験計画と準備加工①・加工②・加工③・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④ | 成すれば合格とない。 一遠隔授業対応 「東験の際には率先」 「遠隔授業対応 「本の注意点 「本の注意点 「本のでは、 「本のでは、 「本のでは、 「本のでは、 「本のできる。 「本のできる。 「本のできる。」 「本のできる。 「本のできる。」 | る。これでは、一週、実験実実を安安実実と、実験を対している。これでは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点 | S内容は前後すること。 □ 実 章目標 対しし適切切な実験 対しし適切切なきる が実施でできる が実実施でできる が対処理が適切切 の の 処理が適切切 の の の の の の の の の の の の の の の の の の | る可能性がある | 。 情成できる 情成できる 情成できる |
| 受業計画が期 | 1stQ 2ndQ | 評価 に に に に に に に に に に | してスケッス | 調整の必要があっての コン,実験計画と準備が加工① 加工② 加工② 加工② 加工④ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 成すれば合格とない。 一遠隔授業計画に記言 実験の際には率先 一遠隔授業対応 で作成について で作成② で作成② で作成③ で作成④ を説明できる。 材料(例えば木、コより明らかにする。 | る。これでは、一週、実験実実を安安実実と、実験を対している。これでは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点 | S内容は前後すること。 □ 実 章目標 対しし適切切な実験 対しし適切切なきる が実施でできる が実実施でできる が対処理が適切切 の の 処理が適切切 の の の の の の の の の の の の の の の の の の | る可能性がある | 。 情成できる 情成できる 様成できる 様成できる がある があずる がもる |
| 受業計画 | ィブラーニ IstQ 2ndQ プアカリキ | Part | して 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 | 調整の必要があっての。 コン、実験計画と準備が上でであるためでは、 加工①・加工②・加工③・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④・加工④ | 成すれば合格とない。 「大作成の際には率先」 「大作成のでは、 で作成のでは、 で作成のでは、 で作成のででは、 で作成のでは、 で作成のでは、 で作成のでは、 で作成のでは、 で作成のでは、 で作成のでは、 で作成のでは、 で作成のでは、 ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | る。これでは、一週、実験実実を安安実実と、実験を対している。これでは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点 | S内容は前後すること。 □ 実 章目標 対しし適切切な実験 対しし適切切なきる が実施でできる が実実施でできる が対処理が適切切 の の 処理が適切切 の の の の の の の の の の の の の の の の の の | 多可能性がある 第経験のある教見 装置を適切に構装置を適切に構装置を適切に構 装置を適切に構 できる できる できる できる できる できる できる | 。 |
| プクテ受業計画デルコプ類 | ィブラーニ I IstQ 2ndQ | 計画 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | して 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 | 調整の必グループの コン, 実験計画と準備 からが スライド かい | 成すれば合格とない。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | る 載して | 内容はすること。 重目標 対しし適適切切りででででででででででででででででででででででででででででででででで | 家経験のある教! 装置を適切に構装置を適切に構装置を適切に構装置を適切に構 できるできるできるできるできる できる できる できる イ 4 4 4 4 4 | 。 情成できる 情成できる 情成できる 情成できる 情成できる 前1 前1 |
| アクテ 授業計画 前期 | ィブラーニ IstQ 2ndQ プアカリキ | Part | して 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 | 調整の必グループの コン, 実験計画と準備 からが スライド かい | 成すれば合格とない。 「成すれば合格とない。」 「大作成のでは、 「ないでは、 | る 載して | 内容はすること。 重目標 対しし適適切切りででででででででででででででででででででででででででででででででで | 家経験のある教! 装置を適切に構装置を適切に構装置を適切に構装置を適切に構 できるできるできるできるできる できる できる できる イ 4 4 4 4 4 | 。 動成できるる あるるるるるる 動成できる が前ができる |

| | 課題 | 合計 |
|---------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 100 | 100 |
| 基礎的能力 | 40 | 40 |
| 専門的能力 | 60 | 60 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 |